

当ガイドは、釣行に「必要なもの」から「道具の扱い方とセッティング」、「釣るコツ」を紹介。一度通して読んで、万全な状態で釣りに出掛けましょう!!

★出掛ける前に必要な小物やルアーを購入

お買い物リスト | 釣行前日までに要準備! 疑問があったら釣具店に!!

<input type="checkbox"/> ルアー	3種	<input type="checkbox"/> 偏光サングラス	1つ
 <p> Spoon クランクベイト ミノー</p>	 <p> サイトフィッシング (魚を確認して釣る方法) が楽しめます。水面の乱反射を防ぐ偏光タイプを持参しましょう。</p>	<input type="checkbox"/> フィールドプライヤー	<input type="checkbox"/> その他あると便利グッズ
<p>全層探れるスプーンが基本ルアーとなります。1~3gまでの各タイプを用意しておくことで攻略の幅が広がります。また引くと泳ぎ、トリッキーな動きも演出できるミノーやクランクベイトがあると有利と言えます。</p>	<p>1つ</p> <p>ハリ外しにも使えるハサミは必需品となります。</p>	<p>「ルアーケース」や「ランディングネット」など、「ゴールドマニュアルブック」の61ページを参考にしましょう。</p>	

★釣るための準備

釣具の特徴と正しいセッティングをマスターして快適な釣りを!

【スピニングリールの特徴】

ベールアームが回転して糸を巻き取るタイプ。

ストッパーレバー

通常はラインを巻き取る方向で固定します。

ベールアーム

ここに道糸を通して巻く。キャスト時は開きます。

ハンドル

道糸を巻くためのとってです。

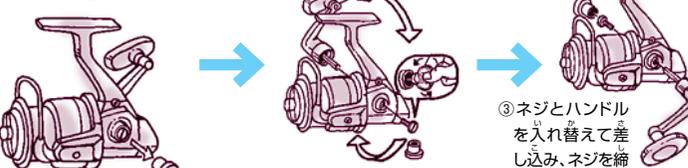
ドラグ

ここを締めることで道糸にブレーキがかかります。また緩めると出やすくなります。

ハンドルを交換して使いやすくしよう

スピニングリールはハンドルの左右交換が簡単にできます。ロッド操作は利き手の方が上手くいくので右利きの方は、左ハンドルに。左利きの方は、右ハンドルに変えるのがベストです。

①ハンドルの反対に付いているキャップを外します。



②10円玉などの硬貨でネジを回してネジ止めごと抜き、ハンドルも外します。

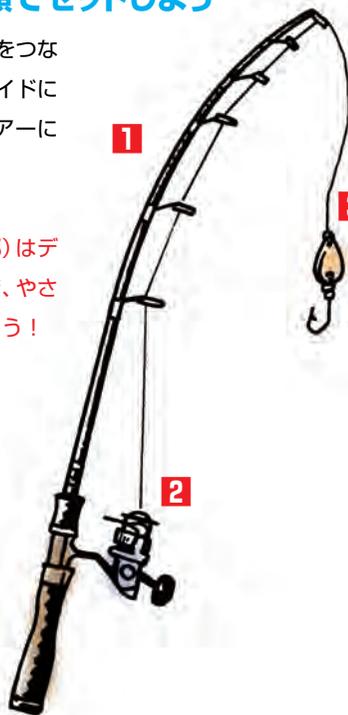
③ネジとハンドルを入れ替えて差し込み、ネジを締め、キャップを付けて完了です。

【釣具のセッティング】

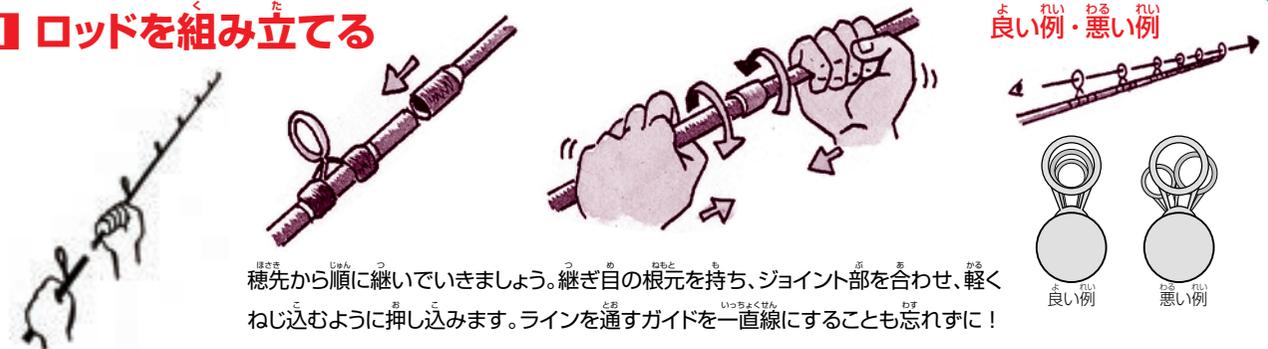
1~3の順でセットしよう

作業は、ロッドをつなぎ、ラインをガイドに通す。そしてルアーに結びます。

※穂先(先端部)はデリケートなので、やさしく扱きましょう!

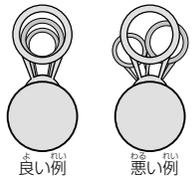


1 ロッドを組み立てる



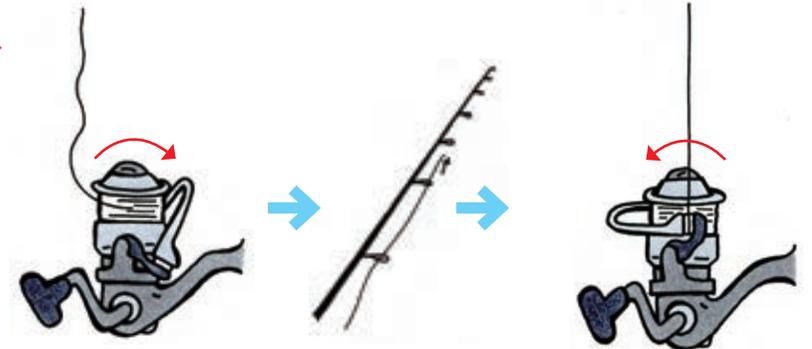
穂先から順に継いでいきましょう。継ぎ目の根元を持ち、ジョイント部を合わせ、軽くねじ込むように押し込みます。ラインを通すガイドを一直線にすることも忘れずに!

良い例・悪い例



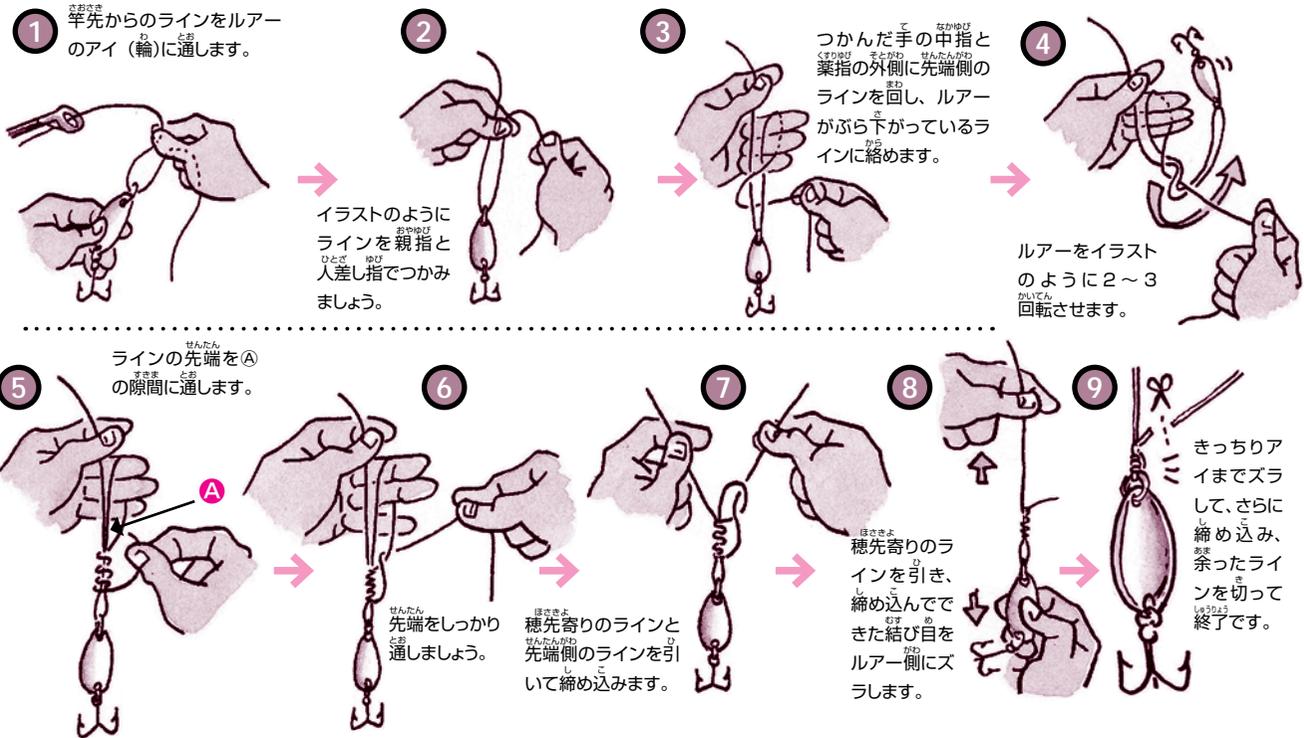
2 ベールアームを起こし、ラインをガイドに通す

リールのベールアームを起こし、リールに近いガイドから順序良く通します。先端のガイドまでラインを通しきったら、ゆとりを持たせてベールアームを戻しましょう。

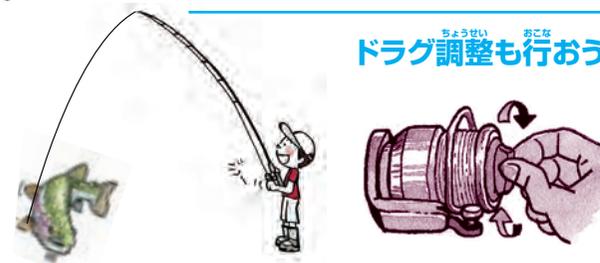


3 ラインの先端にルアーを結ぶ

あっという間にルアーが結べる「ハングマンズノット」で結びましょう。やり方は以下の通りです。



ドラグ調整も行おう

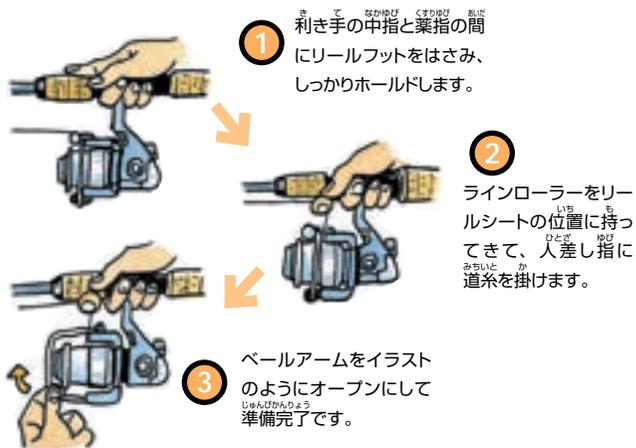


リールの一番上のつまみを回して圧を調整します。ファイト中、魚の引きにハリスやリーダーが耐えきれず負ける(切れる)寸前に、ラインが出るようにセットするのが理想的です。詳しくは、ゴールドマニュアルブック133ページをチェック!

※裏面は、釣るためのテクニックを紹介!!

キャストタイミング

キャストに入る前は、ロッドをしっかりと握って備えましょう。



- 1 利き手の中指と薬指の間にリールフットをはさみ、しっかりホールドします。
- 2 ラインローラーをリールシートの位置に持ってきて、人差し指に道糸を掛けます。
- 3 ベールアームをイラストのようにオープンにして準備完了です。

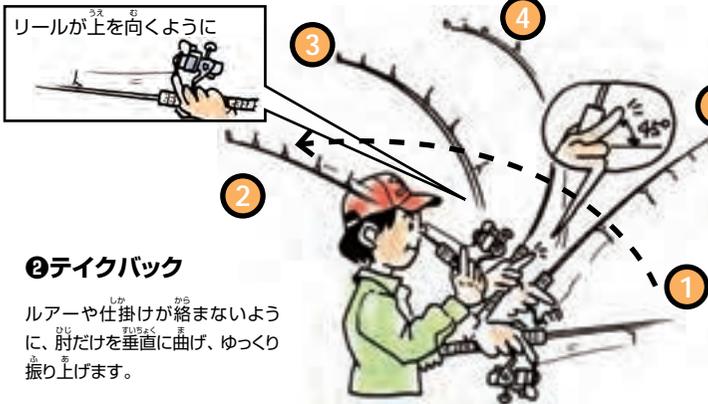
①アドレス

脇を締めて、狙うポイントの正面にロッドを向けてイラストのように構えます。ルアーのたらし（穂先からルアーまでの距離）は10～15cmにしましょう。



③フォワードキャスト

耳の後ろまでテイクバックさせたら、素早く戻します。軽く手首を返すイメージでキャストするとロッドの弾力性を活かすことができます。



②テイクバック

ルアーや仕掛けが絡まないように、肘だけを垂直に曲げ、ゆっくり振り上げます。

④リリース（糸を放す）タイミング

投げようとする方向の斜め45度を指差すようにして糸を放します。

⑤フィード

ルアーを前方へ飛ばしている時は、このくらいの位置をキープ。

ルアーが着水したら、リールのベールアームを閉めましょう。



※回収時のルアーの巻き込み過ぎに注意!



穂先を痛める一番の原因で、結果、破損。釣りが出来なくなります。ルアーが水面に見えたらリールを巻くのを止めて、距離を確認。手元にくるように回収しましょう。

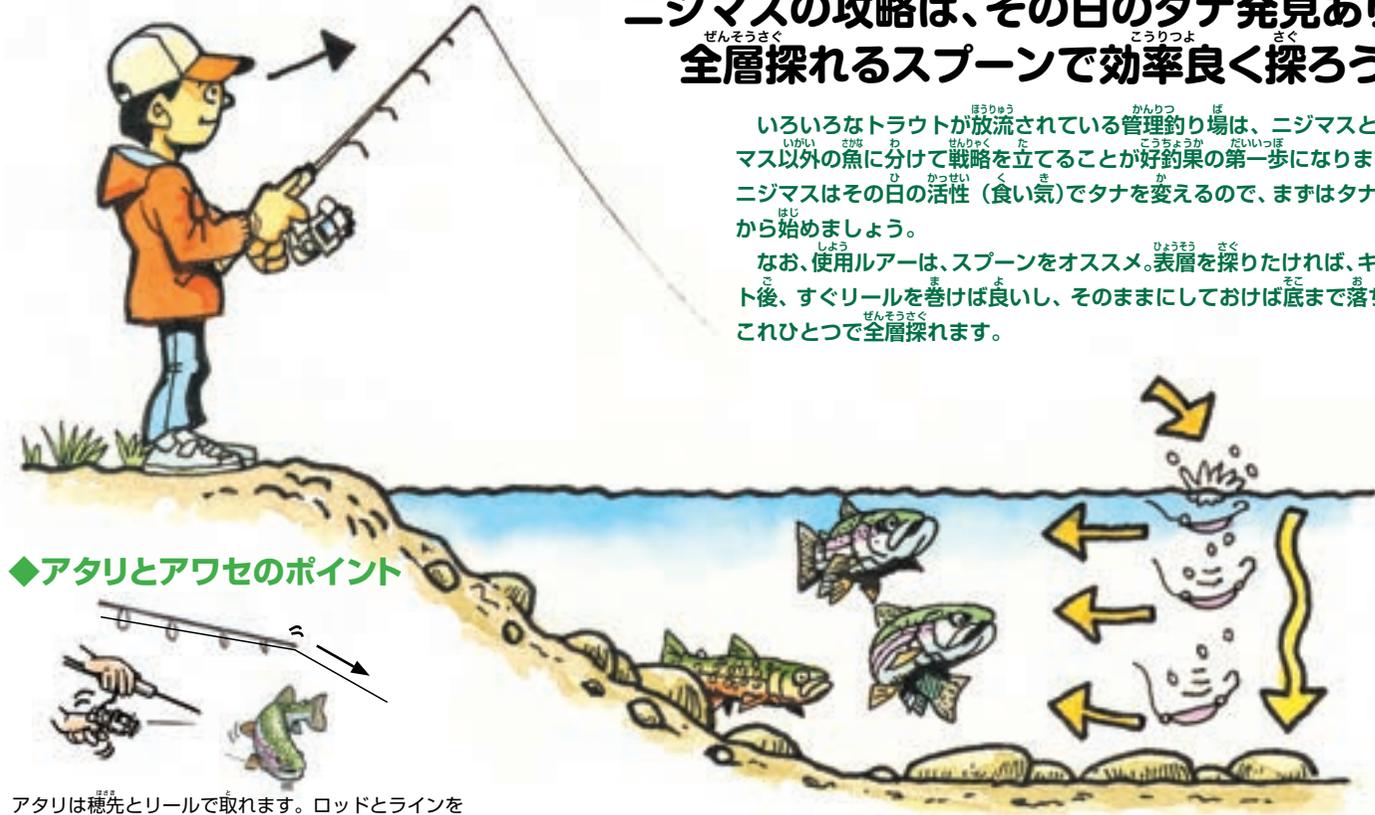
※むやみにロッドを地面に置かない!

自分はもちろん、他の人に踏まれて折れることがよくあります。ロッドを置く場合は、荷物に立て掛けるなど、地面に寝かせないように置きます!!

★釣り方のコツ：管理釣り場のニジマスその他編

ニジマスの攻略は、その日のタナ発見あり! 全層探れるスプーンで効率良く探ろう!!

いろいろなトラウトが放流されている管理釣り場は、ニジマスとニジマス以外の魚に分けて戦略を立てることが好釣果の第一歩になります。ニジマスはその日の活性（食い気）でタナを変えるので、まずはタナ探しから始めましょう。なお、使用ルアーは、スプーンをオススメ。表層を探りたければ、キャスト後、すぐリールを巻けば良いし、そのまましておけば底まで落ちる。これひとつで全層探れます。



◆アタリとアワセのポイント

アタリは穂先とリールで取れます。ロッドとラインを一直線にして、ルアーを引くと、リールの回転が重くなり、穂先に衝撃が伝わります。その時がアワセチャンスとなります。



また、ラインの張りでアタリを取ることができます。ラインを少し弛ませた状態でリトリブ。こちらはラインが張った時がアワセのタイミングになります。

ルアーの引き方は…

ノーアクションのスローが基本となります。一定のスピードで引くステイリトリブが警戒心を与えず効果的です。ルアーがユラユラと泳ぐ最低限のスピードをベースに、速度を変えて各層を探って結果を出しましょう!

中層を探る場合は カウントダウンを利用

使っているスプーンが底まで何秒で到達するかを数えます。その秒数の半分で引きだせば中層を探ることになります。また各秒数ごとに引けば、さらに細かくレンジ（深さ）を探れ、結果、タナがハッキリ見えてきます。

★ポイントはココ

管理釣り場の一級ポイントは、ズバリ! 流れのある場所になります。魚は流れに対して泳いでくるし、通常そうした場所は、酸素も充分にあります。湖沼型なら、水をかき回す“かくはん器”やエアポンプ周り。人口溪流なら、せき止めた石の間から水が流れ落ちる場所などを狙いましょう。

イワナやヤマメ、ブラウンはトリッキーな ミノークションで誘うと効果あり

イワナやヤマメ、ブラウン類は、魚を模した小型ミノークランクベイトで勝負しましょう。この魚達は大型になればなるほど小魚を良く追ひ、食いついてきます。その習性を利用して食わせましょう。比較的、表層を意識しているイワナやヤマメは、スローな動きも有効ですが、早い動きにも反応します。リトリブに緩急をつけて探りましょう。また、イラストのようなトゥイツングでアクティブに誘うのも効果的となります。



トゥイツングは…

ロッドティップをチョンチョンと弾くイメージで動かしてリールを巻きます。ルアーが、予想外の動きをしてくれるので、より効率よく誘えます。慣れるまで練習しましょう。

※かたずけ上手は、釣り上手! 返却日前日までに、しっかりお手入れを!!

レンタル釣具は、返却日までにはお手入れをし、元通りに梱包しておきましょう。また釣具にキズを付けたり、壊してしまった場合は、その箇所をメモに残して箱の中に入れておきましょう。

ロッドをたたむ場合は…



バッド部の継ぎ目から順に外して行きます。ジョイント部がキック縮まっている場合は、継ぎ目の部分を持ち、雑巾を絞るようにネジリながら引くとうまく抜けます。くれぐれも先端を持って外さないこと。穂先が折れます!